

令和元年 12 月新見市議会定例会 11 月 26 日（火）

日程第 4（市長の行政報告について）

市 長 行 政 報 告

本日、12 月市議会定例会を招集いたしましたところ、皆さま方にはご多用のところをご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

それでは、前回の市議会定例会以降についての報告をさせていただきます。

まず、はじめに 9 月の集中豪雨災害への対応についてであります。発災後今日まで、各種支援制度の創設や国・県に対する支援要望など、復旧・復興に全力で取り組んでいるところであります。

家屋被害への対応状況につきましては、昨年 7 月豪雨災害と同様に、住家敷地内に概ね 3 m³以上の土砂流入の被害を受けられた方なども対象とした災害見舞金を、10 月末にお送りしております。

この度の災害は、災害救助法や被災者生活再建支援法が適用されないことから、住宅が全壊し、又は半壊や敷地の被災により住宅をやむを得ず解体した被災者の方を対象に、被災者生活再建支援法に基づく支給額と同額の支援等を追加し実施することとしております。この件につきましては、関連予算を本定例会に計上しているところであります。

また、市内外の多くの皆さまから寄せられた災害義援金につきましても、10 月中に 1 回目の配分をさせていただいたところであり、皆さまからのご支援に対しまして心から感謝申し上げます。

浸水被害対策といたしましては、甚大な被害が発生した地区を対象として公共下水道事業計画の中で雨水計画を策定することといたしました。西方地区においては、県により緊急砂防事業で整備される砂防堰堤の流末処理を適切に行うための計画であり、風木谷川や木谷川の氾濫により浸水被害のあった新見地区についても計画しております。この件につきましても、関連予算を本定例会に計上いたしております。

また、これまでの災害の教訓を踏まえ、10 月 20 日に市と自主防災組織等の関係機関が連携した総合防災訓練を実施いたしました。当日は市民の皆さまや市職員合わせて約 600 人が参加し、市役所や 11 箇所の指定避難所で、避難所の開設・運営に重点を置いた訓練を行い、連携体制の強化や防災意識の高揚を図りました。

なお、災害復旧に係る国庫補助事業の査定状況につきましては、概ね受検が完了しており、11 月 21 日現在で、道路・河川関係が 26 件、農地・農業用施設が 22 件、都市公園 3 件のほか、保育所、下水道施設、堆積土砂排除の各 1 件が採択されております。

引き続き、被災された方に、一日も早く日常を取り戻していただくため、復旧・復興に万全を期してまいりたいと考えておりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

次に、各種要望や全国大会等への参加状況につきましては、11月5日に「災害復旧促進全国大会」、翌6日に「治水事業促進全国大会」、15日には、新たな過疎対策法の制定に向けた「新過疎法制定実現総決起大会」に出席し、県内の市町村長とともに県選出国會議員に要望活動を行いました。16日には「女性首長によるびじょネットワーク」に出席し、女性活躍推進の気運を一層盛り上げていくことを目的に、東京都知事をはじめとする全国各地の女性首長や経済界で活躍する女性経営者とともに意見交換を行いました。

その他の報告といたしましては、県立新見高等学校に関しまして、9月11日、私が会長を務めております「明日の新見高校を考える会」を開催し、これまでの取組を総括するとともに、県の複数校地解消案を踏まえた上で、学科の存続に向けた取組を進めていくことを決定しております。今後も、本市として、できる限りの支援を行ってまいりたいと考えております。

次に、NPO法人地域活性化支援センターが展開するプロジェクト「恋人の聖地」に、満奇洞内の「恋人の泉」が選ばれ、10月1日に選定証が交付されました。これを契機に、満奇洞の魅力をSNS等で発信する企画として、11月2日に「まきコス ～白と黒の不思議～ らいむアーツにいみ」を、9日には「にいみを撮る・女子旅2019」を開催したところであります。

また、菅生の用郷林道「七曲がり」につきましては、公益社団法人土木学会から「土木学会選奨土木遺産」として、11月17日に認定証の交付を受けました。建設当時のままの姿を残す石積みのつづら折り林道は、近隣の鳴滝とともに地域の宝として保全し、地域振興につなげてまいりたいと考えております。

その他、市政に係る主要な事業の進捗状況などにつきましては、「第2次新見市総合振興計画」の基本目標等に沿って報告させていただきます。

まず、「あたたかい福祉のまち」についてであります。被災後9月11日から保育を再開しております新見保育所につきましては、先ほど災害復旧事業関係で申し上げましたとおり、新館の床の張り替え等、本格的な復旧工事を12月から行うこととし、準備を進めております。

次に、「はばたく産業のまち」についてであります。商工振興につきましては、西方の県営工業団地に立地が決まっております株式会社本宏製作所の新見工場建設に当たり、9月26日に安全祈願祭が行われました。令和2年11月に操業開始を予定されており、雇用の拡大につながるものと期待しております。

観光振興につきましては、9月6日に東京岡山県人会、15日に高梁川流域連携事業の「倉敷三斎市新見デー」、27日から2日間、大阪において県と共同実施した「おかやま晴れの国 備中マルシェ」、10月3日には近畿おかやま県人会、24日から27日まで大阪で開催された国内最大級の観光展示会「ツーリズムEXPOジャパン2019」など、あらゆる機会を通じて本市の魅力を積極的に発信しております。

さらには、11月8日から11日まで、岡山への来訪者が多い台湾で開催された「台北国際旅行博」では、インバウンド客の誘致にも努めたところであります。

また、A級グルメフェアにつきましては、11月2日、健康の森において、一般社団法人新見青年会議所主体の実行委員会が主催する「にいみの森フェスタ」と同時開催いたしました。市内外から約6,000人が来場され、様々な催しが行われる中で、1日限定の「A級グルメプレート」などの販売が行われるなど、本市の誇るA級食材を大いにPRできたものと考えております。

次に、「ゆたかな文化のまち」についてであります。9月14日から16日にかけて、新見市憩いとふれあいの公園など3会場で、「第65回全日本総合男子ソフトボール選手権大会」が開催されました。全国各地の予選会を勝ち抜いた大学・実業団・クラブ等32チームの参加により日本一が競われました。このような全国規模の大会を実施できたことで、「ソフトボールのまち新見市」を広くPRできたものと考えております。

10月4日から11日にかけて、本市の姉妹都市であるカナダ ブリティッシュコロンビア州シドニータウンへ、市内中学生8名・高校生2名の10名を派遣いたしました。滞在中はホームステイや現地高校での授業参加、地域住民との交流等により国際理解を深めることができたとの報告を受けており、今回の派遣で得られた貴重な体験や知識等がそれぞれの学校で広められ、国際交流の促進につながるものと期待しております。

次に、「かいてきな環境のまち」についてであります。大佐地区をはじめ多くの皆さまからご要望のありました「中国縦貫自動車道大佐スマートIC」の24時間利用につきましては、年内をめどに実施されることとなり、現在諸準備を進めているところであります。

また、公共交通の充実につきましては、昨年の豪雨で被災した芸備線の全線運転再開に当たり、10月23日に西日本旅客鉄道株式会社岡山支社に、沿線自治体の庄原市と同じく、増便の要望を行っております。

次に「協働によるまちづくり」についてであります。「JR新見駅西エリア整備事業」につきましては、事業主体となる民間事業者を選定し、事業実施に向けた基本協定を締結いたしました。現在、事業提案をもとに事業者との協議を進めており、事業推進を図ってまいりたいと考えております。

また、今後は新見駅周辺整備、駅舎のバリアフリー化改修について、西日本旅客鉄道株式会社と具体的な協議を早急に始め、駅周辺の一体的な整備推進を行ってまいりたいと考えております。

以上、市政運営の状況につきまして主なものをご報告いたしましたが、引き続き市政の推進にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。